

Feng-Shui Gallery

special edition vol.80

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『空間ごとに考える色彩の働き』

～外観編 vol.2～



屋内の居室だけでなく、庭などの外構や家の外観も外部空間としてデザインが及ぼす働きは重要です。周辺環境に良い影響を与えてくれるような色彩を家の外壁や屋根に選定すると良いでしょう。

建物の外観や外構（庭や植栽など）は、外部空間として周辺環境に影響を与えます。目に心地よい色彩を採用することで、住む人はもちろん、家の前を通る人々にも良い感情が生まれ、良い気を集めることができるでしょう。

【写真1】 温もりを感じさせるオレンジページの外壁に、アクセントカラーとして屋根・窓周りに緑色を用いた戸建て住宅。濃い色は視線を引きつけ、良い気を集める働きをします。玄関ドアや車庫シャッター・照明などには白を選定し、スッキリとした見た目になる色彩デザインとなっています。【写真2】 パステルオレンジ色とイエローページをメインとした外壁デザインの集合住宅。外壁に陽光があたると、暖かなイメージの色彩情報を周囲に与え、道ゆく人々が心地よい感情を抱く色彩デザインとなっています。【写真3】 曲線を多用した外観形状の戸建て住宅。曲線は柔らかいイメージと、安心感を与えてくれます。少しオレンジの混ざった黄色い外壁カラーは、明るく前向きな気持ちにさせてくれます。【写真4】 夜間のライトアップで、視線を引きつける集合住宅のエントランス。視線が集まることで良い気が集まります。また、明るく照らされた外観は防犯の面でも効果があると考えられています。【写真5】 ピンクページの外壁カラーが、優しさや柔らかさを感じさせてくれる戸建て住宅。薄めで明るい外壁カラーを選ぶ場合、屋根や外構のレンガなど、周囲の部材は色の濃いモノを選定すると、空間が引き締まり、明るい色がさらに映えます。



<4>

<2>

<5>

<3>

<1>